

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Treatment of disseminated ocular melanoma with sequential fotemustine, interferon alpha, and interleukin 2.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	CQ18-5	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ IV ）	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Br J Cancer.	
	雑誌 ID		
	巻	87	
	号	8	
	ページ	840-5	
	ISSN ナンバー	0007-0920 (Print)	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2）	
	発行年月	2002	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Becker JC,	Department of Dermatology, University of Wurzburg, Germany.
その他著者 1		Terheyden P,.	
その他著者 2		Kampgen E,	
その他著者 3		Wagner S,	
その他著者 4		Neumann C,	
その他著者 5		Schadendorf D, et al	
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	Fotemustine による肝動注の臨床効果を調べる
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	48 例 眼球悪性黒色腫の肝転移症例に対する肝動注 VS 静注の比較。全奏効率は肝動注 VS 静注 21.7 vs 8%だが、生存期間は 369 and 349 days で差なし。 Fotemustine の肝動注による生存期間中央値は、肝動注以前の fotemustine 以外の薬剤による静脈投与法によって得られた生存期間より長かった。このことは fotemustine が他の薬剤の静脈投与既治療例にも有益であることを示している。
	結論	
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	宇原
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（Ⅳ） 肝動注と静脈投与法で生存期間があまり変わらないというデータである。 Fotemustine は本邦では薬価収載されていない。